

中学校部活動の地域展開についての“おたより”です

令和7年8月号（No.5）

伊那市立中学校部活動の地域展開協議会

事務局：伊那市教育委員会学校教育課

☆ 『地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議（文部科学省）』の最終とりまとめ概要（R7.5.19公表）」により、「地域全体で連携して行う」ために「地域移行」という名称を「地域展開」という名称に変更しました。

※ 言葉の定義

- 中学校部活動が地域展開したクラブ＝「地域クラブ」という
- 今まで活動していたクラブなど＝「地域のクラブ」という

テーマ1 「令和7年度第1回伊那市立中学校部活動の地域移行協議会」（R7.7.17）を開催しました。（以降、「地域展開協議会」と名称を変更します）

= 会議内容 =

○ 「協議会委員の委嘱」について

今年度も、有識者、市スポーツ協会関係者、文化芸術関係者、中部PTA会長、市公民館関係者、各中学校長の24名で構成します。

この会議で委嘱しました。

○ 「先行して地域クラブを立ち上げる」について

伊那市では、「中学校部活動は、令和8年度末に地域展開を目指す」としています。それまでに地域クラブを立ち上げる中学校部活動には、市としての助成を検討しています。

令和7年度後半から令和8年度末（令和9年3月）までの、期間を限定した助成と考えています。

市に対して補正予算の承認をお願いしようと考えています。補正予算が認められたとき、申込方法等の詳細をお知らせします。

令和9年度以降の助成については、今後検討していきます。

○ 「伊那市地域クラブ指導者リスト」について

指導者不足は、否めない事実です。県でも指導者リストの整備をしていますが、伊那市としても市独自の指導者リストを整えていきたいと考えています。

今回の協議会（7/17）に要綱を示し合意しました。今後必要な作業等が終了したところでご案内しますので、皆様のご協力をお願いします。

自薦・他薦は問いません。生徒（子どもたち）と活動と一緒にしてみたい（指導してみたい、活動を支えたい）方の登録をお願いします。

指導者資格所有の有無は問いません。取得に向けて今後前向きに考えていただければ、結構です。

○ 伊那市が認定する地域クラブについて

中学校部活動が地域クラブに展開したとき、活動場所は確保できるのか、使用料は支払うのか、市の備品などは使用できるのか、就学援助はどうなるのか、など、様々な心配ごとが寄せられています。

今伊那市では、地域展開した地域クラブには、できるだけ今までの中学校部活動に近い条件等で活動できるよう検討しています。

そこで「地域クラブ」の要件を示し、適合するクラブを伊那市教育委員会として「地域クラブ」と認可し、支援していこうと考えています。

今後示される国や県の方針を受けて、詳細について検討し、第2回協議会（10月下旬頃開催予定）にて最終判断をしたいと考えています。

○ スポーツ指導者資格取得促進のための補助金について

地域クラブには、指導者資格を有している指導者の選任が求められている活動があります。文化芸術系活動の地域クラブには、特に決められた指導者資格はありませんが、スポーツ活動の地域クラブには、特に中体連大会等の出場に係り指導者資格の取得を求められる場合があります。

その資格を取得するためには、費用と時間がかかります。その費用を補填するための補助金が県でも設けられていますが、伊那市としても、県の補助金では不足する分を補充できるよう検討をしています。

来年度の予算への計上を目途に、関係する条件を整備していきたいと考えています。

テーマ 2 「中学校部活動の顧問と地域文化芸術スポーツ活動代表者との懇談会」 (8/1)を開催しました。

中学校部活動の地域展開を進めるには、この懇談会が必要と考え、今年初めて実施しました。今までになかった懇談会ですが、中学校部活動の顧問の先生や地域の文化芸術スポーツ活動の代表者など関係の方々が出席し、8/1（金）18:00～伊那中学校にて行いました。

この懇談会が、中学校部活動の地域展開の一歩になれば、と思っています。

※ 協議会及び伊那市は、地域クラブの創設は、当事者の自発性・自主性を尊重するよう考えています。

子どもたちが活動していくために、指導者（顧問を含む）や保護者等の方々が、自発的に地域クラブを立ち上げていくことを大切に考えています。

※ 今まで協議会で検討されてきた内容や今後必要になるだろうと考えられる内容について、伊那市の公式ホームページに掲載してあります。ご確認ください。

検索:「伊那市公式ホームページ」→「くらし・行政」→「子育て・教育」→「学校教育」
→「伊那市立中学校部活動の地域移行協議会」